



2025年3月期 3Q 連結
アナリスト向け決算説明会

2025年2月7日



1 決算のポイント

1 決算のポイント ✖ 1.1. 第3四半期までの主な取り組み

■ 組織および体制関連

- 4月1日付組織再編
- 4月1日付で、ジェット・テクノロジーズ(株)の全発行株式を取得
- 5月10日、株式分割（7月1日付、当社普通株式1株につき2株の割合で分割）を決議
- 7月1日、日本ソフトウェアデザイン(株)の一部事業を(株)クレスコに譲渡のうえ、同社は(株)メクゼスに吸収合併
- 9月10日、(株)クレスコ・ジェイキューブによる(株)高木システムの自己株式除く全発行株式取得を発表（10月1日付）

■ 事業関連

- 6月より、クラウド総合支援Creageの新サービス「アプリケーションモダナイゼーションサービス」「Creage DevOps導入支援サービス」「Control Towerオプション」提供開始
- 4月に子会社(株)クレスコ・ジェイキューブが、IBM社のOS「IBMi」市場の活性化に向け、アイエステクノポート社と包括的協業パートナーシップ「Project Techno-Cube」を締結
- 7月にグループ内AI技術活用等に取り組む仮想組織「生成AIビジネス変革研究室」を設立
- **10月より、企業のクラウド環境内にGPT環境を構築し生成AI活用をサポートする「生成AI環境構築サービス」提供開始**
- **11月より、「自動車産業サイバーセキュリティガイドライン対応支援サービス」の提供を開始**
- **12月より、福岡市の「屋台DX」プロジェクトの一環として、CAPICHI社の「Capi Order」システムを活用した「多言語デジタルメニュー」に関する実証実験を開始**



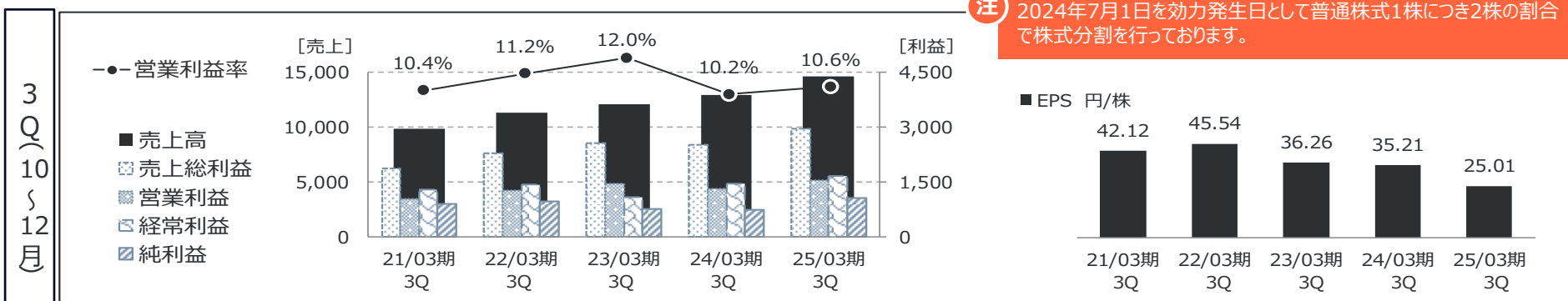
【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。

【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

【単位：百万円未満切捨】

- 新型コロナ5類移行（2023年5月）による経済活動正常化後、企業のIT投資需要は依然として旺盛。業種別に濃淡はあるものの、主要顧客を中心に売上が増加、新規連結効果もあり、前同比（以下同じ）+11.8%の増収。
- 前年同期に比べ不採算案件が大幅に減少し、営業利益は+25.9%の大幅増益。
- 経常利益も、保有するデリバティブ評価益（営業外収益）30百万円を計上し、+13.9%の増益。

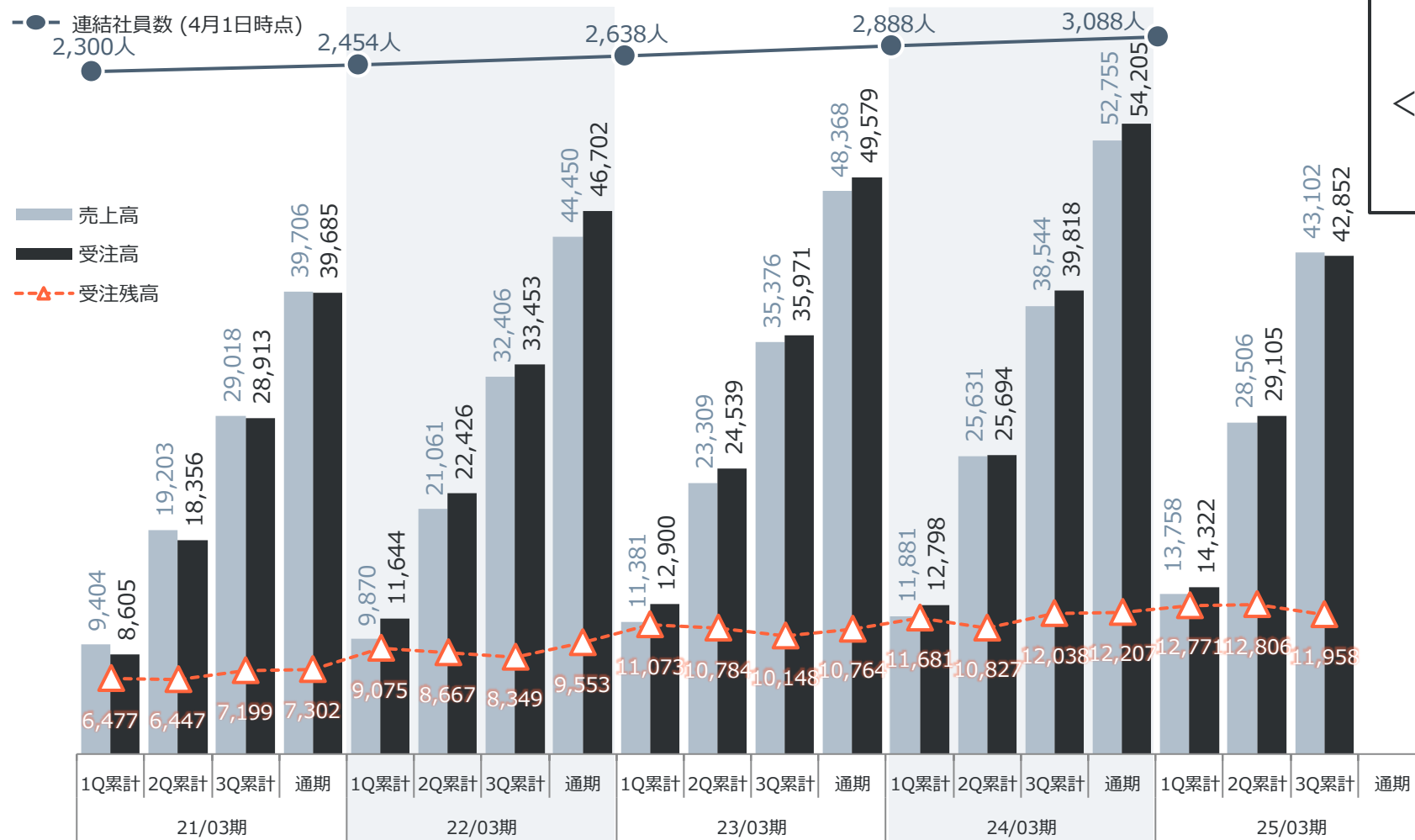
3 Q 累 計		23/03期	24/03期	25/03期	前年 同期比	対通期 進捗率	通期 業績予想	
							24/5/10 予想	前年 同期比
	売上高	35,376	38,544	43,102	111.8%	73.7%	58,500	110.9%
	売上総利益	7,095 (20.1%)	7,202 (18.7%)	8,505 (19.7%)	118.1%			
	営業利益	3,697 (10.5%)	3,298 (8.6%)	4,154 (9.6%)	125.9%	70.4%	5,900 (10.1%)	115.2%
	経常利益	3,202 (9.1%)	3,887 (10.1%)	4,426 (10.3%)	113.9%	73.8%	6,000 (10.3%)	106.0%
	純利益	2,230 (6.3%)	2,398 (6.2%)	2,926 (6.8%)	122.0%	73.2%	4,000 (6.8%)	107.3%
	EPS 円/株	105.99	57.84	71.02			96.99	





[単位：百万円未満切捨]

- 旺盛な顧客ニーズを背景に、受注高は前年同期比+7.6%増。受注残高は△0.7%と微減。
- 経済活動正常化後の、企業のDX推進に向けた活発な動きは継続。新規連結効果もあり。



＜受注高＞
前年通期累計比
107.6 %

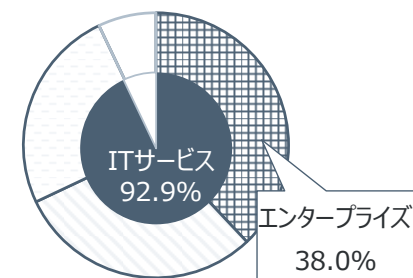
＜受注残高＞
前年同期比
99.3 %

1 決算のポイント ✨ 1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

[単位：百万円未満切捨]

セグメント	サブセグメント
ITサービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス
	エンタープライズ 情報・通信、広告、流通サービス、運輸、人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

＜セグメント別の売上高比率:3Q(10～12月)＞

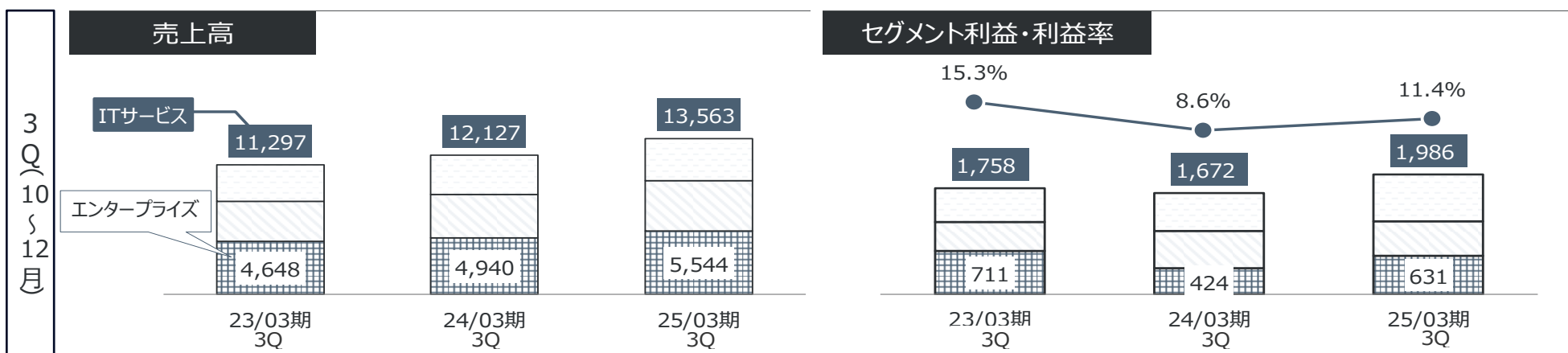


■ 売上高： **161億70百万円**（前年同期比 9.8% ↑）

・「建設・不動産」「流通サービス」「人材紹介・人材派遣」の各分野において受注減も、「情報・通信・広告」「運輸」「その他」の各分野の伸びが大きく上回ったため。

■ セグメント利益／利益率： **17億24百万円／10.7%**（前年同期比 27.6% ↑）

・ 売上高と同様の理由に加え、前年同期に不採算プロジェクトが複数発生していたため。

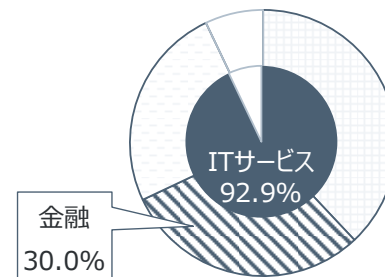


1 決算のポイント ✨ 1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

[単位：百万円未満切捨]

セグメント	サブセグメント
ITサービス	金融
・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	銀行、保険、その他

<セグメント別の売上高比率:3Q(10~12月)>



■ 売上高： **128億14百万円**（前年同期比 **18.4%** ↑）

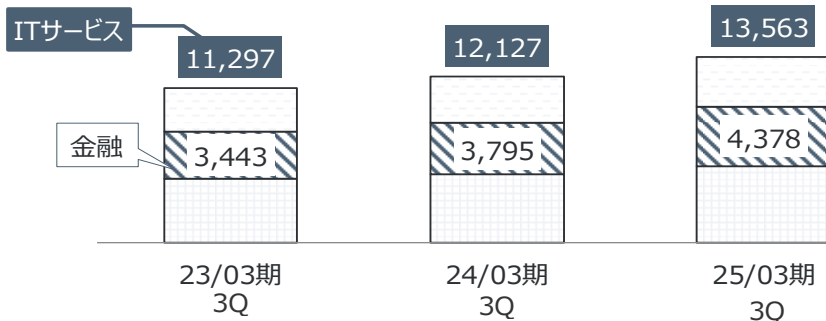
・「銀行」分野における受注増に加え、ジェット・テクノロジーズ(株)新規連結したため。

■ セグメント利益／利益率： **17億32百万円／13.5%**（前年同期比 **28.9%** ↑）

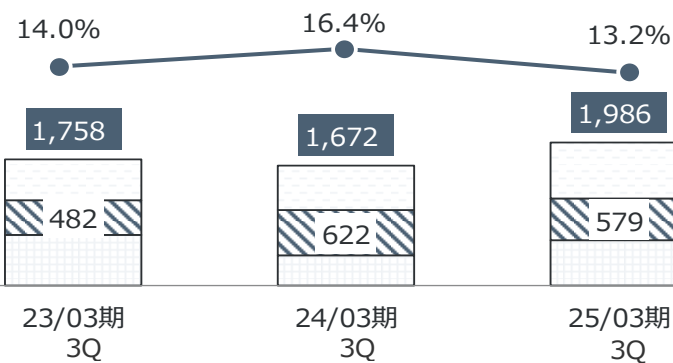
・ 売上高の増加と同様の理由に加え、前年同期に不採算案件が発生していたため。

3Q累計

売上高



セグメント利益・利益率



3Q(10~12月)

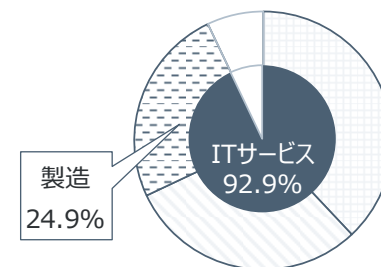


1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

[単位：百万円未満切捨]

セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング	製造	自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他
	・IT企画 ・開発・保守の総合サービス		

<セグメント別の売上高比率:3Q(10～12月)>



■ 売上高：110億72百万円（前年同期比 8.8% ↑）

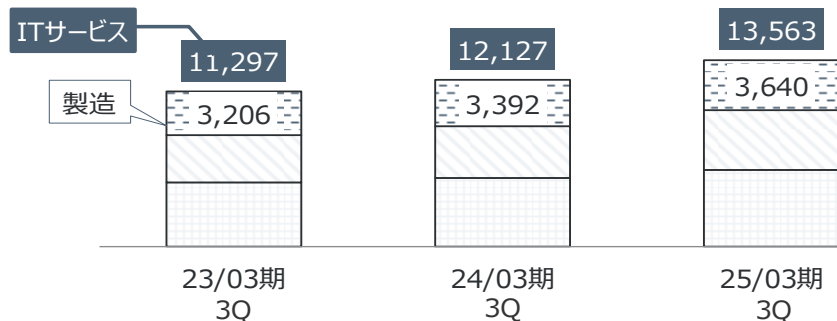
- ・「機械・エレクトロニクス」で受注が伸び悩んだものの、「自動車・輸送用機器」「その他」での受注増、またジェット・テクノロジーズ(株)、(株)高木システムを新規連結したため。

■ セグメント利益／利益率：20億55百万円／18.6%（前年同期比 19.1% ↑）

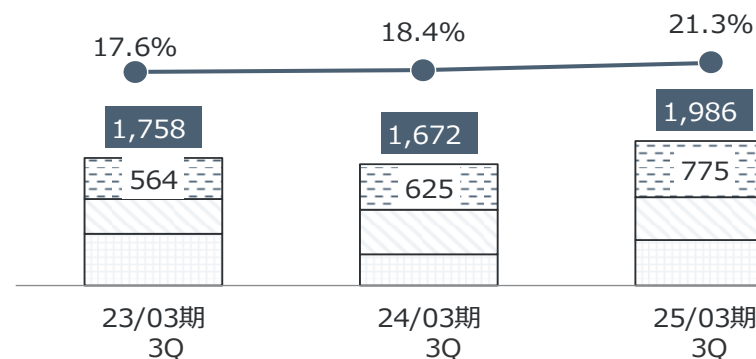
- ・売上高の増加と同様の理由。

3
Q
累
計

売上高



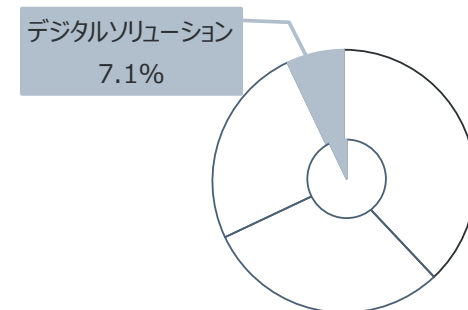
セグメント利益・利益率

3
Q
(
10
～
12
月)

[単位：百万円未満切捨]

セグメント	事業		
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群		
	＜主な製品・サービス名＞	Creage：クラウド関連サービス アノテーション：AI関連サービス	UiPath：RPA関連サービス 教育・セミナー：AI、クラウド、RPAなど

＜セグメント別の売上高比率:3Q(10～12月)＞



■ 売上高：30億44百万円（前年同期比 8.3% ↑）

- ・前年同期にあった大型受注が無かったものの、一部連結子会社のライセンス販売増、(株)高木システムの新規連結のため。

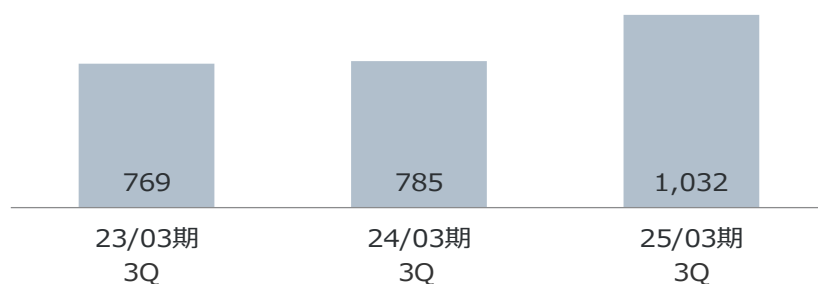
■ セグメント利益／利益率： **1億34百万円／4.4%**（前年同期比 8.3% ↓）

- ・ 製品・ライセンスの販売利益率低下のため。

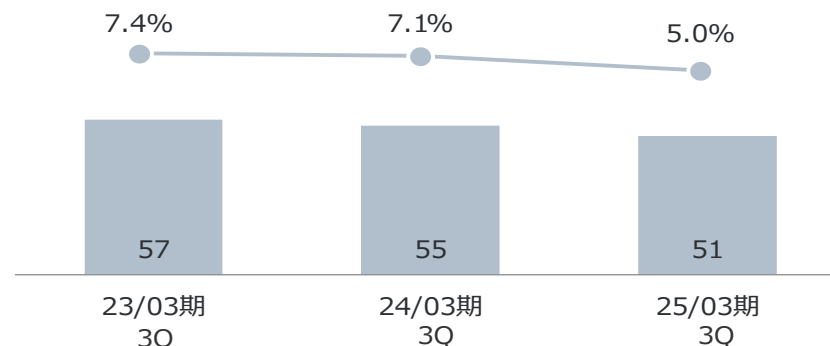
3Q累計

3
Q
10
s
12
月

高上壳



セグメント利益・利益率





2 2025年3月期の見通し



[単位：百万円未満切捨]

- 2024年5月10日公表の2025年3月期連結業績予想（2Q累計及び通期）に**変更なし**。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

		24/03期					25/03期	
		23/5/10 予想	前年 同期比	実績	前年 同期比	達成率	24/5/10 予想	前年 同期比
通 期	売上高	52,500	108.5%	52,755	109.1%	100.5%	58,500	110.9%
	売上総利益			10,337 (19.6%)	107.2%			
	営業利益	5,250 (10.0%)	105.0%	5,121 (9.7%)	102.5%	97.6%	5,900 (10.1%)	115.2%
	経常利益	5,370 (10.2%)	104.6%	5,658 (10.7%)	110.2%	105.4%	6,000 (10.3%)	106.0%
	純利益	3,582 (6.8%)	107.6%	3,728 (7.1%)	112.0%	104.1%	4,000 (6.8%)	107.3%
	EPS 円/株	173.89		90.06			96.99	

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。



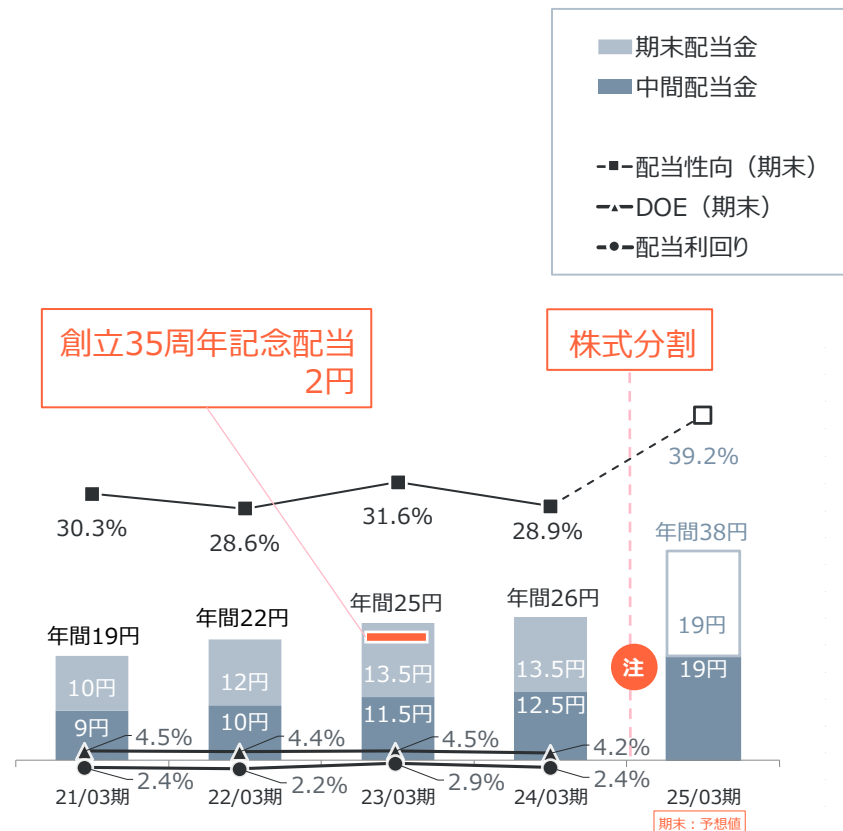
- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2024年5月10日公表の、2025年3月期の配当目標「**38円**」に**変更なし**。

	23/03期	24/03期	25/03期		
	実績	実績	実績	24/5/10 予想	増減
中間	23円	25円	19円	19円	-6円
期末	27円	27円	—	19円	-8円
年間	50円	52円	—	38円	-14円
配当性向	31.6%	28.9%	—	39.2%	10.3%
配当利回り	2.9%	2.4%	—		
DOE	4.5%	4.2%	—		
配当金の総額	1053百万円	1070百万円	—		

[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- 当社は株主のみならずに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- 特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、原則、**親会社株主に帰属する当期純利益の40%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。



注 さらなる投資家層拡大・市場流動性向上を目的として、2024年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。

- ・ 25/3期中間期より、上記分割後の株式に対し配当しております。
- ・ 当グラフでは、24/3期以前も上記分割ベースに換算した配当実績を記載しております。

本日2025年2月6日の取締役会において、2025年2月25日付の保有自己株式2百万株消却を決議しました。



ご参考



1) 連結子会社の変遷

	2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
クレスコワイヤレス	【※8】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
アイオス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
シーサー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
クレスコ・デジタルテクノロジーズ	【※3】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
メクゼス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
エヌシステム	【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ネクサス	【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
アルス	【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
クレスコ・ジェイキューブ	【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
クレスコベトナム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
エニシアス	【※1】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
クレスコ・ネクシオ	【※2】【※6】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
日本ソフトウェアデザイン	【※5】【※9】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ジェット・テクノロジーズ	【※7】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
子会社総数	12	12	12	12	12	13	13	13	13	11	11	12	12	12	12	12	13	11	11	

【※1】 2020年4月1日付で「(株)エニシアス」を子会社化

【※2】 2021年7月1日付で「(株)OEC」を子会社化

【※3】 2022年5月1日付で「クリエイティブジャパン」は「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に商号変更

【※4】 2022年7月1日付で「アルス」は「エヌシステム」「ネクサス」を統合

【※5】 2023年2月1日付で「日本ソフトウェアデザイン(株)」を子会社化

【※6】 2023年10月1日付で「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

【※7】 2024年4月1日付で「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化

【※8】 2024年6月14日付で「クレスコワイヤレス」の株式譲渡

【※9】 2024年7月1日付で「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合

ご参考 ※ 2) 生成AI活用の取り組み

ご参考4) 中期経営計画2026>7つの戦略ご参照
4. 技術・デジタルソリューションの拡張
6. デジタル変革実現



- 2022年
生成AI活用に向けた取り組みを開始
- 2023年
社員向け生成AIチャットサービス「CrePT」を開発、運用開始
- 2024年
社長直轄の部門横断組織である**生成AIビジネス変革研究室**を設立

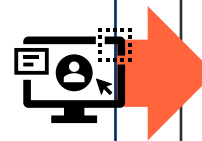
顧客への新たな価値創出

- **デジタルソリューション提供**
「生成AI環境構築サービス」の提供開始
- **ITサービス他ビジネスの品質向上**
開発部門社員の生成AI利用率は**62%**
(前年度末時点: 36% **26% Up↑**)



生成AIを利用した社内デジタル変革

- **社内管理業務の効率性向上**
管理部門社員の生成AI利用率は**72%**
(前年度末時点: 35% **37% Up↑**)
- **AI自動解答サービスの社内運用開始**
「社内コンシェルジュサービス」が社内ルール関連照会に対応



生成AI時代に適応する人財育成

- **社内オリジナル教材によるスキル向上**
「生成AIリテラシー講座」全社員受講率 **95%以上**
- **部署向けハンズオン講座開催**
累計**22**部署で開催



CRESCO Group Ambition 2030



CRESCO Group Ambition 2030

人が想い描く未来、
その先へ

クレスコグループは
最高のテクノロジーと絆で
“わくわくする未来”を創造します

中期経営計画2026

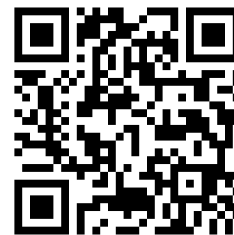


「CRESCO Group Ambition 2030」「中期経営計画2026」達成に向け、あらゆる局面で生成AIを活用し、生産性・競争力を最大化して価値を創出する

ご参考 3) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



【注】コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。内容に変更はありません。



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>



「中期経営計画2026」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>

中期経営計画

(2024年度～2026年度)

2024年5月10日

CRESCO 
株式会社クレスコ



ご参考 ※ 4) 中期経営計画2026概要

- 「顧客とともに持続的に成長し、社会を前進させる」ことを目指し、「新たな挑戦」と「さらなる変革」の実現に向けて、7つの成長戦略を推進。



- 不採算プロジェクトの発生防止
- ITエンジニアの確保と育成
- グループ連携を軸にした顧客への提案活動
- デジタルソリューション事業の売上増加と収益性向上
- 生産性の向上
- サステナビリティ経営および人的資本経営の推進

免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。
予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】

IR・ブランディング室 Mail : ir@cresco.co.jp
TEL : 03-5769-8058